

平成 22 年度 ニホンジカ疾病検査結果

捕獲した野生のニホンジカを域資源として有効活用するにあたり、人獣共通感染症（プリオン病）の危惧から守るため、調査を実施した。

以下、調査結果について報告します。

1 検体情報（4 検体）

- （1）鹿（雌、月齢不明、63kg、130cm、北佐久郡北相木村）
- （2）鹿（雌、月齢不明、65kg、133cm、諏訪郡下諏訪町）
- （3）鹿（雌、月齢不明、40kg、110cm、飯田市南信濃）
- （4）鹿（雄、月齢不明、70kg、135cm、伊那市高遠町）

2 鑑定材料（種類、数量）

延髄（生材料 4 検体）

3 鑑定目的

慢性消耗病（CWD）に関するサーベランス調査

4 検査方法

ウエスタンブロット法

5 検査結果

ウエスタンブロット法：陰性

6 考 察

慢性消耗病（CWD）は否定

7 検査実施機関

独立行政法人

農業・食品産業技術総合研究機構 構動物衛生研究所